

◎商工業振興対策の経費

伝統鎌倉彫振興事業

産業振興課

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興: 農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 鎌倉彫振興事業所等

意図 鎌倉彫振興事業所の開設を図り、常時「鎌倉彫」に触れる場の提供に努めるとともに、組合の行う事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興に努めるため。

効果 唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫産業が培ってきた歴史や特産品としての価値の継承・向上が図られる。

【事業の内容】

(1) 伝統鎌倉彫振興事業

- ・ 鎌倉彫産業の振興を図るための施設である鎌倉彫振興事業所について、軒裏修繕と排水設備修繕などの維持管理を行った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫産業の振興を図るための事業を支援した。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,305	4,441	3,753		688

主な支出内訳

・ 伝統鎌倉彫振興事業

鎌倉彫振興事業所光熱水費	452
鎌倉彫振興事業所修繕料	1,747
鎌倉彫振興事業所警備委託料	202
鎌倉彫リーフレット作成委託料	329
伝統鎌倉彫振興事業補助金	1,000

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-28 伝統鎌倉彫振興事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	383 伝統鎌倉彫振興事業					
主管課	産業振興課	関連課					
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	伝統的工芸品である鎌倉彫産業の振興を図る。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	3,753千円	2,156千円	2,243千円	事務事業の内容		
	(国・県)				①鎌倉彫振興事業所 の維持・管理		
	(負担金等)	812千円	807千円	817千円	②伝統鎌倉彫事業協 同組合補助事業		
	(一般財源)	2,941千円	1,349千円	1,426千円			
	人員配置数	0.1人	0.1人	0.2人			
	人件費	962千円	954千円	1,826千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	4,715千円	3,110千円	4,069千円			
	市民1人当 りの経費	27円	18円	23円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
鎌倉彫生産額	◎	目標値	950,000千円	950,000千円	970,000千円		
		実績値	970,000千円	970,000千円			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
組合員数	×	目標値	75	75	70		
		実績値	70	66			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・現在、審査中の地域団体商標登録が認められれば、改めて鎌倉彫ブランドを内外にPRする好機となるため、鎌倉彫振興事業所を拠点とした新たな取り組みを検討する。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・地域団体商標登録については、特許庁の指示に基づく補正を行い、いまだ審査中である。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・将来に向かって新たな需要喚起や市場開拓に取り組む必要がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・鎌倉彫振興事業所を拠点とした新たな取り組みについて、伝統鎌倉彫事業協同組合とともに検討を行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	伝統鎌倉彫事業協同組合との連携により、新たな取り組みを検討していく。				無
担当課長氏名:	磯崎 勇次				

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	伝統的工芸品の指定を受けている鎌倉彫は、鎌倉の文化、産業、観光にわたる重要な資源であるので、伝統鎌倉彫事業協同組合と連携し、その伝承と発展に努める。				無
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子		